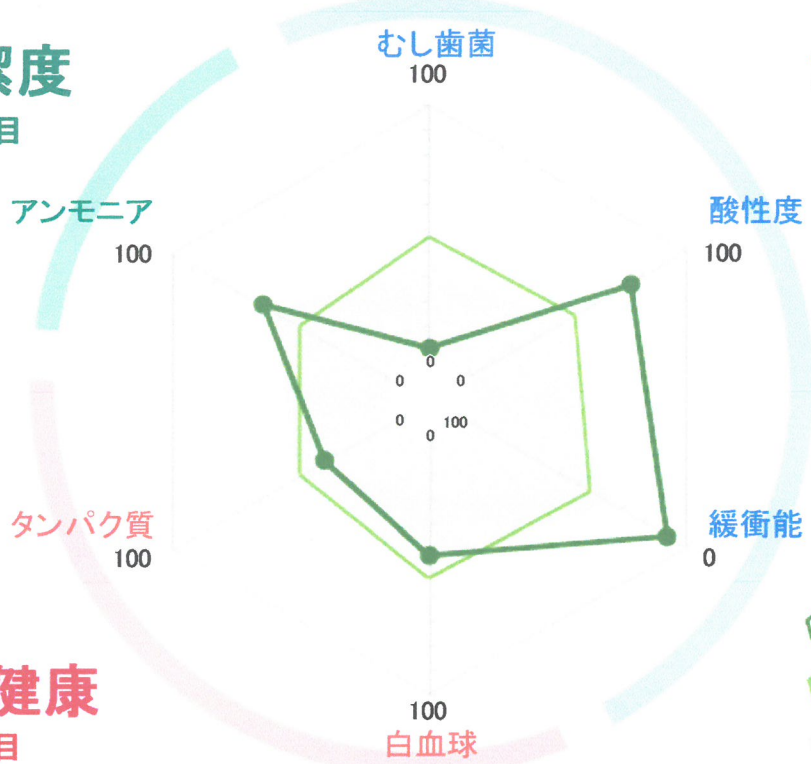


アークレイ タロウ 様

作成日 2020/03/04

口腔清潔度
に関する項目

歯の健康
に関する項目



歯ぐきの健康
に関する項目

※グラフの見方: 六角形が小さいほど、お口の健康状態が良いことを示しています。
測定結果は、唾液を試験紙に滴下した際の色調を百分率で示しています。(実際の菌数や濃度などではありません)

歯の健康 に関する項目	むし歯菌	1	少なめ 平均値: 37	むし歯菌数が多いと、むし歯になりやすいことが知られています。
	酸性度	74	高め 平均値: 43	唾液の酸性度が高いと、むし歯になりやすいことが知られています。
	緩衝能	9	弱め 平均値: 36	緩衝能(酸に対する抵抗力)が弱いと、むし歯になりやすいことが知られています。
歯ぐきの健康 に関する項目	白血球	43	平均レベル 平均値: 49	歯肉に炎症があると、唾液中の白血球が多くなることが知られています。
	タンパク質	29	少なめ 平均値: 43	歯周病の原因菌が多く、歯肉に炎症があると、唾液中のタンパク質が多くなることが知られています。
口腔清潔度 に関する項目	アンモニア	58	平均レベル 平均値: 53	口腔内の細菌総数が多いと、唾液中のアンモニアが多くなり、口臭などの原因になることが知られています。

総合コメント

歯科医院での「プロケア」と自分で行う「セルフケア」は、予防歯科の「車の両輪」です。両方のケアをしっかりと実践し、生涯を通じて歯とお口の健康を守っていきましょう。

